



### Q 水田農業の生産構造改革を A 課題となる圃場分散を協議したい

長島正一議員

日本の食料自給率向上が叫ばれるなか、燃料・肥料等の大幅値上がりは農業経営を根底から揺るがす事態となっております。

今こそ、本町全域のブロック化による集団転作を行うなどの農業生産構造の根本的改善に取り組み、農地集積による経営コスト削減に努め、担い手(法人・団体・個人)の育成と経営の安定化を図るべきでは。

山崎英樹町長

本町の水田農業は非常に厳しい状況にさらされており、農業の再構築は喫緊の課題であり、本町の特徴を生かした取り組み指針をまとめたところでは。

町内全域でのブロックローテーションは、飯南町一農場として求めていくべき姿だと思います。

特に赤来地区は圃場分散が作業効率の上からも課題となっており、今後に向け関係者との話し合いを加速的に進めるための場を設けます。

### Q 農業の再構築への戦略は A PRと販売チャンネルの拡大で

長島議員

農業の振興に向けて様々な提案がされていますが、農産物市場価格は低迷が続く、具体的対策が求められています。

①米や米粉販売戦略には、精米や製粉施設の整備を。

②燃料・肥料高騰対策には、耕畜連携による堆肥の有効活用を。そのためにはエコ米生産拠点集落へのストック場所等の整備を。

③多品目生産への挑戦と販売戦略の構築を。

多品目生産は、高齢者・零細農家の得意とするところであり、都市への産直事業の推進等が有効では。

生産・加工・販売の一環体系は、裾野の広い産業を創出することができるのでは。

山崎町長

米の販売は、消費者の要求を満たす戦略としてGAPへの取り組みによる安全

で安心できるエコ米を基本と考えます。また、里山コミッションでのPRの推進と販売チャンネルの拡大は、農産物販売戦略の一つとして期待をしています。

施設整備は、計画戦略作りに向け検討します。

肥料高騰対策は、稲わらと堆肥の交換システムを構築

築します。

堆肥ストック等はエコ米生産の上からも必要であり検討します。

多品目への挑戦と販売については、多くの農産物が低迷するなか、着実に伸びており、伸ばさなくてはならない分野です。

しかし、高速道路開通後は、国道五四号の通行量減少が予想され、広島市内への販売拠点は有効な手段と考え、検討します。

## 9月定例会 町政を問う 一般質問



米の検査(赤来集荷所)

### Q ネット環境整備で人口増を A 通信速度と利便性を向上

難波伸一郎議員

食糧危機が叫ばれるなか、自給自足ができる田舎が改めて見直されています。

田園風景に加えて快適なインターネット環境整備は流入人口増加を期待できます。

現在は快適な状況とはいえ、高速回線の実現を。

山崎英樹町長

定住支援センターにはインターネットと携帯電話の通信環境に対する問い合わせが多数あります。

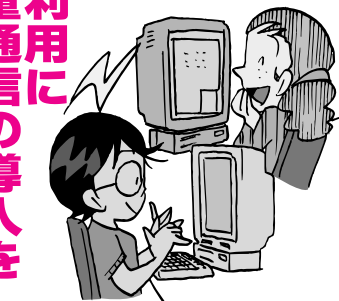
インターネット環境整備を行うことが定住促進にもつながると考えられます。

来年度飯南局のモデムを更新し、上位回線の容量を増加し、現行料金を基本とし通信速度と利便性の向上を図る計画としています。



### Q ケーブルテレビの独自展開を A 現在の形態を継続

難波議員



ケーブルテレビは、雲南夢ネットと接続していますが、発足当時と状況が変わり飯南町と雲南市に分かれ、考え方も大きく違い一緒にやるメリットはないと思われま

す。即刻提携は解除し、単独で次への展開をすべきでは。

山崎町長

一部事務組合のメリットを生かしながら主体性をもった通信対策を行って、今の形態を継続します。

### Q 遊休施設利用に 高速大容量通信の導入を A 今すぐの状況ではない

難波議員

遊休施設の旧校舎などに快適なネット回線を引き込み、スペースを貸すといった方法が有効との意見があります。

テレビのデジタル化に伴い、町内LANも見直しが必要と思われる、検討すべきでは。

山崎町長

高速大容量通信を求められるこの提案は、有効な手段ではあるが、いま整備する状況にはなく、今後の検討事項とした

体育大会で活躍するケーブルテレビカメラ



コスモス祭りのイベントで、新米コシヒカリをおにぎり弁当販売した「志々地区家の光グループ」の皆さん